

平成 23 年度第 1 回募集 財団法人浜松市文化振興財団

はままつ文化サポート対象事業

種 別	A 平成 23 年度下期文化力コース		
実施団体名	浜松学院大学地域共創センター		
事業名	ドキュメンタリー映画から見る南米二世代の青年たち—ハママツからブラジルへ		
実施年月日	平成 23 年 12 月 17 日（土）		
実施場所	アクトシティ浜松コンgresセンター 31 会議室	実施回数	1 日間 1 回
入場料	無料		
事業内容	<p>平成 22 年度国際交流基金の日本理解促進映像作品プログラム助成を受けて、大学生を含めたドキュメンタリー制作委員会が、日本とブラジルの両国で撮影を行い、制作した「孤独なつばめたち」は、国際交流基金から高井評価を受け、平成 23 年度、同基金の知的交流会議の助成を受けて海外（ブラジル・米国）でドキュメンタリー映画の上映とシンポジウムが開催されることになった。</p> <p>①事業内容</p> <p>A) 浜松地域において、国際移動を繰り返す出稼ぎの子ども達に焦点を当てたドキュメンタリー映画「孤独なつばめたち “Andorinhas solitarias”」の上映</p> <p>B) ドキュメンタリー映画の上映後、シンポジウムドキュメンタリー映像から見える新たな南米日系合アイデンティティを検証する」開催をする。日本で生まれ育った南米日系の青少年は、日本とブラジルの双方の周辺に位置づけられた環境的な存在ではなく、2 国間での国際移動により構築された新たなアイデンティティを持つ存在として据え直す。</p> <p>本シンポジウムは、学術的なものではなく、参加者全体で、南米日系の二世代の青少年の文化や考えを共有することにある。なお、日本での上映とシンポジウムの開催は本事業が初めてになる。</p> <p>②事業運営／南米日系人の大学生を中心としたボランティア・グループ（Aquarela : アクアレ）</p> <p>③パネリスト予定者／村井隆太（映画製作学生委員会）、西山輝一氏（中日新聞社：南米日系青少年取材者）、セリーナ・セムセル氏（学院大地域共創センター客員研究員）、澤田敬人氏（静岡県立大学：他文化教育の専門家）、パブロ・ナダヨシ（映画の登場人物と同様の生活をおくる南米日系人の青少年）</p>		

波及効果	これまでデカセギの子どもたちを過去から現在まで時間的奥行きのもとでライフヒストリー法を用いたドキュメンタリー映画はほとんど見られない。本事業において、ドキュメンタリー映画の上映及びシンポジウムにより、日系ブラジル人の青少年の様々な語りに通底する基調音から彼らを取り巻く社会的現実に迫ることに大きな成果が期待される。
事業費総額	217,000 円
助成金額	100,000 円